

「地域の担い手を増やす『福祉SOSゲーム』を越谷でつくる」

を開催しました

✎ 日 時:12月7日(木) 14:00~16:30

✎ 場 所:「ほっと越谷」セミナールーム

✎ 参加者:34人(女性27人、男性7人)

✎ 主 催:さいたまNPOセンター越谷事務所

【内容】

これからの住みやすい地域づくりには、住民同士の支え合いが欠かせません。地域にはさまざまな課題があります。「福祉SOSゲーム」は地域住民同士が支え合い、最適な専門機関への橋渡しを学べる疑似体験ゲームで、草加市と文教大学が協働開発しました。その手法を使い、北越谷、大沢エリアに合わせたゲームを作りました。相談者の状況と悩みを記載した事例カードについて、グループで話し合いながら、地図上の各種施設や病院など、どの「社会資源」につなげればいいのか考えました。



【参加者の感想】

- ・楽しかった。楽しく困難解決の方法が学べた。
- ・地域資源だけでなく、地域の方の生の声を聞いてよかった。
- ・困りごとの相談先がたくさんあることを改めて知りました。
- ・コミュニケーションツールとしてのクオリティが非常に高い。学生さんのインプットが多岐にわたり、ファシリテーションには相当な準備が必要だと感じます。わずかな時間で地域のことがわかりました。
- ・学生さんと一緒に福祉について考えるいい機会になりました。時間が足りなかったのが少し残念でした。